



2020年度もうひとつのおうち下馬自己評価表

2021年3月31日

	チェック項目	取り組み状況
環境・ 体制整 備	お子さまがのびのびと過ごせる広さのお部屋を確保しているか	40 m ² の指導訓練室に加え、巧技台のある OT ルーム、公認心理師や言語聴覚士の個別レッスンに使う個別指導訓練室があります。言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、公認心理師、保育士などの国家資格を持つ専門職を基準より2人多く配置。お子さまの成長に繋がる環境設定を考え、常にお子さま目線で楽しいレッスンを提案しています。お子さまがいるお部屋にはカメラを設置し、3階ファミリールームのモニターを通してレッスンの様子をご覧になることができます。階段には転落防止のためドアを設置しており、お子さまもご家族も安心して過ごせる環境を提供しております。定期的な換気や手指消毒の実施に加え、レッスン毎に不織布マスクとエプロンを取り替え、清潔な状態でレッスンを提供しています。お弁当時にはアクリルパーテーション
	せんせいの人数や専門性はお子さまの育ちを促すために十分であるか	
	1対1の対応が必要なお子さまのために十分な数のせんせいがいるか	
	お子さまひとりひとりの育ちに応じた環境調整が充分に行われているか	
	お子さまが安全に過ごせるように、お部屋の中の安全対策を行っているか	
	お子さまの健康が保たれるようにお部屋の中の衛生管理を行っているか	
業務改 善	お子さまが最大限成長できるよう、適切な目標設定と振り返りをしているか	朝の打ち合わせではお子さまの課題や関わる上での目標を共有し、活動後の振り返りでは達成度やお子さまのためにできる事を話し合い、毎回効果が感じられ、連続性のあるレッスンを心がけています。プレスクールでは6ヶ月毎、就園後は1年毎に標準化されたアセスメントを行い、個別支援計画を作成。アセスメント結果は第三者の研究者の方に効果検証を依頼し、その結果に基づいた定期的な研修を実施。ご家族には週に1度、成長記録をメールにてご提出いただき、レッスンの中でどのように向き合うかの参考としています。ご家族へのアンケート調査は年1回実施。指導員は研修やSVが受けられるよう
	ご家族を対象とした、アンケート調査を実施し、サービスに活かしているか	
	自己評価の結果をHPなどで公開しているか	
	第三者の方に評価をお願いし、サービス向上に繋げているか	
	せんせいの専門性の向上のために、研修の機会を確保しているか	

	レッスンの質を向上させるためのスーパービジョンの仕組みがあるか	に BCBA-D の先生をはじめとする講師の方々のお世話になっています。
適切なサービスの提供	お子さまの育ちについての評価を適切に行い、お子さまやご家族のニーズや課題を分析した上で、レッスンについての計画書を作成しているか	Vineland-II 適応行動尺度を中心に新版 K 式発達検査、田中ビネー知能検査 V などの検査を定期的実施している他、ご家族とのレッスンのフィードバックや成長記録を参照しながらプログラムを検討し、日々内容を更新しています。「教える」のではなく、指示をできるだけ控えながら相手の仕草を見て何をするのかを気づいたり、お友達がやっていることを見たり、褒められたことを聞いて「自分もやってみたい！」と自分からトライできるような機会を考えております。就学前の集団では話し合いの時間を設けています。自分の意見や理由を発表するだけでなく、相手の意見を聞いて頷き、コメントすることで多数決を前提にせず相手の発言を尊敬する機会を作っております。レッスンは口頭でのフィードバックと専用サイトにレッスンの記録を共有し、ご家族からコメントを頂いています。
	お子さまの育ちの経過を把握するために継続的に統一の評価ツールを用いているか	
	お子さまの育ちに合ったプログラムになるよう、チームで検討しているか	
	お子さまが楽しめるような工夫を凝らし、選択する機会を設けているか	
	お子さまに合わせた、きめ細やかな課題設定をするよう心がけているか	
	お子さまに応じて、ご家庭や生活環境に合わせたプランを提供しているか	
	レッスン前にせんせい同士で打ち合わせをして、役割を明確にしているか	
	レッスン終了後に全体で振り返り、一日の様子について共有しているか	
レッスンの記録を必ず残し、プランの検証、改善に努めているか		
ご家族への説明責任	運営規定、レッスン内容、料金の説明し、個人情報に注意しているか	公費事業の利用が初めての方もいらっしゃるため、ご契約時に運営規定、レッスン内容、料金について丁寧に確認しております。グループでの活動や大きなお部屋にて一緒に個別レッスンを行っていることからご家族同士の交流も盛んです。個人情報保護の管理には細心の注意を払っておりますが、他の方と会いたくないというご家族には向いていない設定かと思えます。全てのお子さまが年齢に応じたグループに所属して卒業まで持ち上がりで過ごしますので、とても仲良しです。待合室では、ご家族が一緒にお昼ご飯を召し上がったたり、ごきょうだいが学校の宿題などをされたりしています。
	子育てについての相談に応じ、協力して対応を考え、実践しているか	
	ご家族同士の仲を深めたり、情報をご紹介したりする仕組みがあるか	
	レッスンの様子をお知らせし、ご家族との意思伝達をする手段があるか	
	ご家族からの苦情に対応する体制があり、丁寧な対応ができていますか	

非常時の対応	リスク管理、衛生管理、災害時対応のマニュアルを策定し、周知しているか	ヒヤリハット事例は振り返りにて確認を取った後、事例を記録しスタッフ全員で共有します。非常時対応はマニュアルを作成、定期的に訓練を実施しています。お子さまの気持ちが崩れた時はお子さまの気持ちを共感しつつ、ご家族とレッスン後のフィードバックで確認しています。イベントなどで食べ物を提供する際には、感染症対策を十分にとり、全てのアレルギーに対応し準備しております。
	虐待防止等お子さまの育ちを保证するための研修の機会を作っているか	
	災害の発生に備え、定期的に避難訓練を実施しているか	
	お子さまの気持ちが崩れた時、必要な対応をご家族と話し合っているか	
	ヒヤリハットは記録し、改善策を検討した報告書を保管、共有しているか	